



## 外国出張報告書

平成 26 年 9 月 30 日

1. 出張国名       ベトナム
2. 出張月       平成 26 年 9 月
3. 出張目的       気候変動プロジェクトのワークショップ参加及び発表：A

#### 4. 成果の概要

カントー大学で 9 月 27 日に開催された気候変動対応プロジェクトワークショップ JIRCAS-CTU Climate Change Project Workshop 2014 において、

ベトナムメコンデルタ洪水常襲稲作地域のフルダイクシステム（輪中）の水文環境への影響（Hydrological impacts of full-dyke system in flood-prone rice areas in the Vietnamese Mekong Delta）、およびベトナムメコンデルタの水位上昇の要因分析（Factors behind increasing water levels in the Vietnamese Mekong Delta）の 2 題について発表を行った。

最初の発表では、カンボジア国境に近い常襲洪水地域で 3 期作を行うためのフルダイク化の進展の影響について、衛星画像、メコン河（ハウ川）の水位を分析し、

①フルダイク地区の上流にあるカンボジア側国境付近やフルダイク地区の西側にあるキエンジャン省などで湛水日数の長期化傾向が認められること、

②バサック川カントー地点の水位が近年上昇傾向にあることを報告した。

次の発表では、メコンデルタの 24 地点の水位観測データについて年最大値と年最小値の変動傾向を分析し、カントー地点の水位上昇は、温暖化による海面の上昇と地下水の過剰汲上げによる地盤沈下の影響が原因として大きいと考えられることを報告した。